

／障がい者アートの新しい魅力に出会える／
アートでおしゃべり！
『あふれる思い ふれる気持ち2025』関連プログラム

対話型アート鑑賞

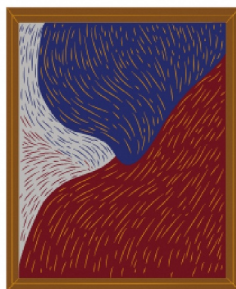
参加者同士で自由に話しながら
新しい発見を楽しむ鑑賞イベントです
専門知識は不要で、こどもから大人まで
どなたでもご参加いただけます

アートを深く
鑑賞したい

新しい発見
をしたい

感じたことを
シェアしたい

”対話型鑑賞”
に興味がある



日時

令和8年

2 / 28 土 13:30 ~ 15:00

会場

ゆいぽーと 1階工房・ギャラリー
新潟市中央区二葉町2丁目5932番地7(旧二葉中学校)

定員

10名

※定員超過の場合抽選

費用

無料

申込期間

令和8年

2 / 3 火 まで

講師

対話型鑑賞ファシリテーター

ひのみや

まなみ

樋宮 真奈美

21世紀型教育を
考える会にいがた

哲学対話や対話型鑑賞の
ファシリテーターとして
小中学校・地域の授業や
講座、専門学校・大学
での教育活動を展開。
世代を超えて“言葉を
交わす楽しさ”を実感できる
対話の場を育んでいる。



©まちごと美術館

主催／

新潟市文化スポーツ部文化政策課

☎ 025-226-2624

✉ bunka@city.niigata.lg.jp

詳細は
新潟市HPへ



お申し込みは
フォームから



／対話型アート鑑賞とは／

ファシリテーターの進行のもと、同じアート作品をみながら
参加者同士が感じたこと・思ったことを言葉にして共有し、
対話を重ねながら作品を探求していくプログラムです。
お互いの考えに耳を傾け合うことで、
自分だけでは考えつかなかった新しい
アイデアや気づきが生まれます。



©まちごと美術館

／今回のプログラムでは／

展覧会「あふれる思い ふれる気持ち2025」の
展示作品をみんなで鑑賞し、
感じたことをファシリテーターと一緒に自由に話してみよう。
同じ作品でも、感じ方や解釈は人それぞれです。
対話を通して、
作品の魅力や表現への理解が自然と広がります。
アートをきっかけに、表現の多様さや新しい気づきに
出会うひとときをお楽しみください。

『あふれる思い ふれる気持ち2025』



suguru 《母の料理》

新潟市では、障がいの有無にかかわらず誰もが
自分らしく暮らせる共生社会の実現を目指し、
市内の障がいのある方の表現活動を調査し、
展覧会を開催しています。

本展では、調査を通じて選ばれた作品と、
その制作過程に焦点を当て、
多彩で豊かな表現の魅力を伝えます。

本展は、1月31日(土)からの新潟市美術館を皮切りに、
アピタパワー新潟亀田店、ゆいぽーとを巡回して開催し、
誰もが「ともに」アートを楽しんでいただけます。



R6展覧会の様子



R5展覧会の様子